

子ども・若者 関連情報

3月11日(月)に児童扶養手当を振り込みます

3月下旬になっても振り込まれていない場合はご連絡ください。
ID1003455 子育て支援課 ☎(338)6851・☎(372)7988

育児相談

日 4月24日(水)午前9時10分～10時30分
対 乳幼児の保護者 定20人(申し込み先着順) 内 身体計測、育児相談、栄養相談など 持ち物 母子健康手帳(親子健康手帳) ID1003429 申問場 3月7日(木)から、公式ホームページのインターネット手続きで、健康推進課(健康センター) ☎(376)9177へ



2歳歯っぴー歯科相談

日 4月18日(木)午後1時20分～2時50分
対 2歳～2歳6カ月未満の子ども 定32人(申し込み先着順) 内 歯科医による歯科診察・歯みがき指導、かかりつけ歯科医の紹介、唾液検査 持ち物 母子健康手帳(親子健康手帳)、普段使っている歯ブラシ、タオル ID1003437 申問場 公式ホームページのインターネット手続きで、健康推進課(健



康センター) ☎(376)9177へ

パパママ学級(両親学級)

①歯っぴー食事コース

日 4月10日(水)午後1時15分～3時30分
対 妊娠16週～35週の方とそのパートナー 内 妊娠中の歯の健康、栄養と食事バランスチェックとレシピ紹介

②ウェルTAMA!赤ちゃん準備コース(全2回)

日 4月17日(水)午後1時15分～3時15分、4月20日(土)午前9時15分～正午
対 出産予定日が6月・7月の初産の方とそのパートナー 内 お産の準備と呼吸法、今から役立つ多摩市の情報、赤ちゃんのお風呂(沐浴実習)・DVD「赤ちゃんの泣きへの理解と対処のために・産後のママの気持ちの変化」、先輩パパママとの交流会、ベビー服・グッズなどの展示

【共通事項】

定 各20組(申し込み先着順) 持ち物 母子健康手帳(親子健康手帳)、筆記用具 備考 一人での参加可 ID1003411 申問場 3月7日(木)から、電話で、健康推進課(健康センター) ☎(376)9177へ

公民館保育室開放デー&あかちゃんおはなし会

日 場 定 右上表の通り 対 未就学児とその保護者 備考 詳細は、公式ホームページ参照。関戸公民館で、6日午前11時から「あかちゃんおはなし会」

を実施 ID 永山公民館=1003198、関戸公民館=1003215 申 当日直接各事務室へ 内 永山公民館 ☎(337)6661、関戸公民館 ☎(374)9711

実施日	時間	場所	定員
3/18(月)	10:00～16:00	永山公民館 第1・2保育室	20組程度
3/6(水)、4/3(水)	9:00～16:45	関戸公民館 保育室	各7組程度

大谷戸プレーパークTAMA自然体験活動指導者養成講座

子どもたちのさまざまな体験活動をサポートする指導者を養成するための講座です。実技と講義を受講した方は、キャンプインストラクターの試験を受けることができます。

日 ①実技=3月9日(土)または4月13日(土)の午前9時～午後3時 ②講義・実技=1日間(午前9時～午後3時)。実施日は要相談 場 ①大谷戸公園キャンプ練習場 ②国土館大学多摩南野キャンパス(南野2-11-1)(予定)

対 18歳以上の方(子ども連れでの参加可) ¥2,000円(教科書代)。資格取得希望者は別途15,300円(受験料・登録料・事務手数料) 内 野外教育の必要性、自然体験活動、子どもとの関わり方、火起こし、道具作りなど 持ち物 筆記用具、飲み物、昼食 備考 動きやすく汚れてもいい服装で。キャンプインストラクターの資格取得希望者は受講終了後に試験あり ID 1011050 申問 ①の各前日午後4時ま

でに、メールで、件名「指導者養成講座」・氏名・性別・住所・連絡先を、国土館大学ウエルネス・リサーチセンター ☎seal79@kokushikan.ac.jp・☎(339)7347(平日午前10時～午後4時)へ



Poco Poco Festa2024～ステージアートのおもちゃ箱～

子どもがプロの芸術や舞台アートに触れて、びっくりしたり、感動したり、わくわくできる参加体験プログラム。1日参加券がなくても体験できるプログラムもあります!

日 3月20日(祝)午前10時～午後4時30分 場 パルテノン多摩 対 1日参加券=3歳～大人(0歳～2歳児は保護者のチケットで入場可) 定 ¥1日参加券=500円・500円 備考 事前申し込みが必要なプログラム有り[申込期限3月18日(月)]。詳細は、Poco Poco Festa2024 URL https://www.pocofes.com 参照 申 1日参加券は、イープラスまたはパルテノン多摩で販売中 認 認定NPO法人多摩子ども劇場 ☎(376)7651

多摩ラボ

ID1014263
☎経済観光課
☎(338)6830

みんなの やりたいを 後押しする

第2回 やってみた!人インタビュー

多摩市若者会議 高野さん、西山さん ▲インタビューの全文はこちら

若者の“やりたい”を後押しし、共に活動する多摩市若者会議。“まちづかい”の経験豊富な彼らが、多摩センターの広い公共空間に魅力を感じ、やりたい(活動)に共感してくれるまちの人と対話できる「まちづかいオープンカフェ」を11月23日に実施しました。このカフェは、“やってみよう”を伝えてくれた人にコーヒーをプレゼントする仕組み。コーヒーをきっかけにまちの人たちの声を集めようとする新しい取り組みです。

今回は、この取り組みを実施した、多摩市若者会議のお二人にお話をお聞きしました。



“変人のパイオニア”を多摩市全体に増やしたい。



西山さん

(多摩市若者会議 コアメンバー)

これまで私は、ワークショップなどに積極的に参加している方々と活動してきました。今回、オープンカフェという形で街に飛び出すことで、通りすがりの方など普段話す機会がない方とお話でき、市内の高校に通う学生からは「パルテノン多摩で寝転んで空を見たい」という話も聞けました。とっても素敵で、私もやってみようって!

今は、多摩センターでイベントを企画すると、行政や関係機関との調整が大変で、慣れていないと難しいこともあります。今後はだれもが気軽に多摩センターを使えるようになると良いと思います。



高野さん

(多摩市若者会議 運営)

今回は、私たちがしたかったことを“まちづかい”としてやってみました。今後は、「誰でも日常的に“やりたいこと”ができる街」になると、面白くなっていくと思います。“やりたい”という気持ちを持った人は変わった人が多いと思っていますよね(笑)。活動を通して、多摩市全体に“変人のパイオニア”を増やしていきたいな、と密かに狙っています。

※多摩市若者会議では、主に39歳以下の若者主体となってアイデアを生み出し、提案者が自らプロジェクトを企画・立案・実践しています。詳細は、多摩市若者会議 URL https://tamayouth.jp/about/ をご覧ください